

第13号様式（第9条関係）

令和●年●●月●●日

導入設備が複数ある場合は複数枚提出してください

## 設備比較証明書

(宛先) 川崎市長

補助事業者ではなく、  
設備事業者等が証明者

(設備・機械メーカー又は納入業者等)

所在地 川崎市高津区■■町○丁目  
名称 ▲▲▲▲株式会社  
代表者職・氏名 代表取締役 高津 太郎

川崎市エネルギー最適化補助金に申請する下記設備について、既存の設備と比較して、省エネ効果又は高効率効果は5%以上であると判断したことを証明します。

なお、川崎市から省エネ効果又は高効率効果の計算根拠資料の提出を求め、  
もって説明及び計算根拠資料の提出に応じます。

代表者役職名・氏名  
を記入してください

## 1 申請者情報

補助金申請事業者住所	川崎市川崎区▲▲町○番地
補助金申請事業者名称	●●●●株式会社

## 2 設備情報

	既存設備	導入設備
設備の種類	生産設備やサービスを提供するために必要な省エネ設備等	
製品名	□□□□□	□□□□□
メーカー	(株) ○○機械	(株) ○○機械
型番	A B C - 1 2 3	D E F - 4 5 6

比較項目（1台あたり） ※	既存設備	導入設備
消費電力量 (w/h)	(A) 25,000 w/h	(B) 20,000 w/h

※比較項目（1台あたり）は「消費電力量 (w/h等)」、「消費重油量 (kl/h等)」、「ガス消費量 (kW/h)」、「工作物一個あたり消費電力量 (w/個等)」、その他省エネルギー比較項目（燃費等）の中から選択してご記入ください。なお、使用水量や発熱量、電気・ガス代等の金額による比較は認められません。

## 3 次の計算式に記入してください。

	上記比較項目エネルギー量 A	台数 C	A又はB×C
既存設備	(A) 25,000 w/h	1	(D) 25,000 w/h
導入設備	(B) 20,000 w/h	1	(E) 20,000 w/h
	$(D - E) \div D \times 100 =$		20% $\geq 5\%$

※1 既存設備・導入予定設備の性能等が記載されているカタログ等を添付すること。

※2 既存設備が古くカタログ等が入手できない場合は、可能な限りインターネット等で情報を収集し、画面を印刷して添付すること。

※3 行が不足する場合は、適宜、追加すること。